D-Bio

Daigas Group
大阪ガスグループは、Daigasグループへ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

バイオマス（主に食品廃棄物）の有効利用サービス

廃棄物の有効利用により処分量とCO_2排出量を削減します

Daigas エナジー

D-Bio

CO_2排出量削減　環境負荷低減

お客さまの経営を取り巻く環境に対し課題解決となるサービスを提供します

CO_2排出量削減の動き

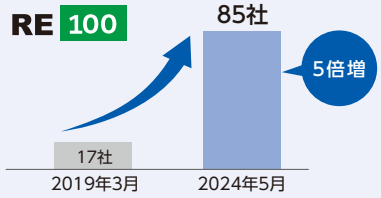
「地球温暖化対策計画」「第7次エネルギー基本計画」「GX2040ビジョン」が閣議決定され、不確実性が高まる中、中長期的なGX投資の加速が示されました。RE100加盟企業は増加しており、自社のみならずサプライチェーン全体の排出削減（Scope 3）に向け、取引先に対しても具体的な取組みを求める動きが強まっています。

地球温暖化対策計画

2040年度　温室効果ガス
73%削減（2013年度比）

2050年
ネット・ゼロの実現

RE100[*1]加盟企業の増加



*1 RE100（100% Renewable Electricity）。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする協働イニシアチブ

施設から出る食品廃棄物の有効利用の加速化

サプライチェーンを構成する全企業には、バイオマスの有効利用を通じた、脱炭素・循環型社会への貢献が強く求められています。また、食品リサイクル法に基づき、食品関連事業者は「再生利用等実施率」の目標達成を目指すとともに、事業者ごとに毎年設定される「基準実施率」を上回ることが求められています。

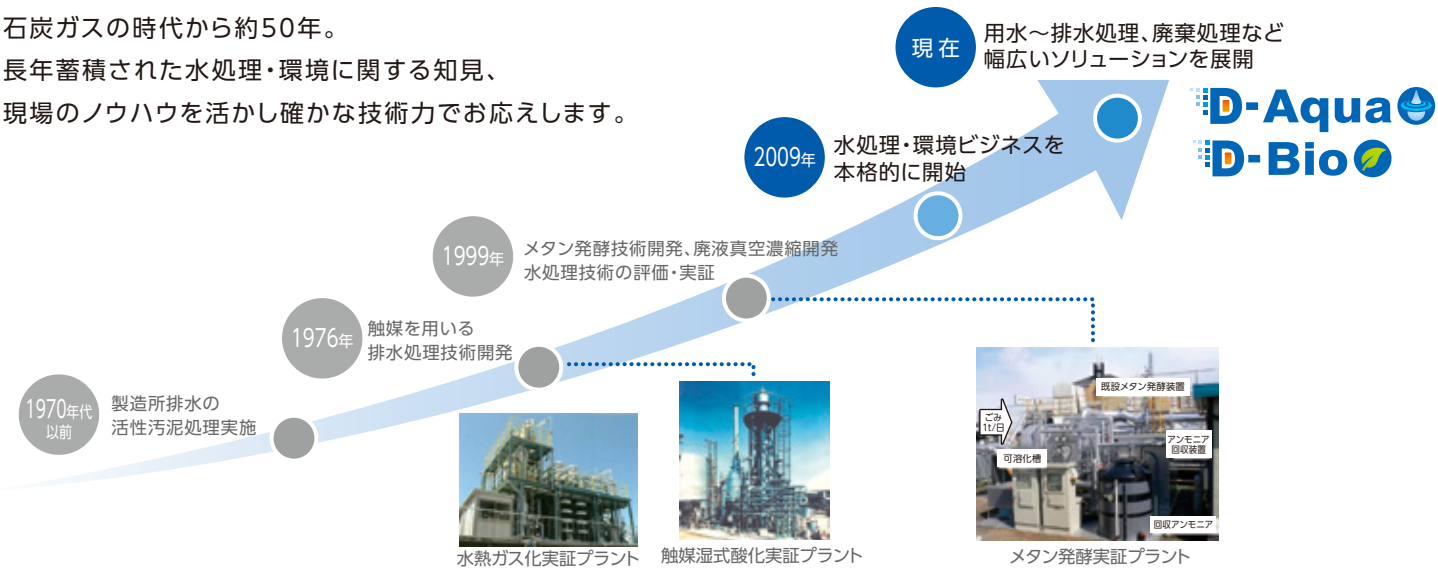
廃棄物系バイオマスの利用率（抜粋）[*2]

バイオマスの種類	利用率	
	現在（2025年7月時点）	2030年の目標
食品廃棄物	60%	約63%
下水汚泥	78%	約85%
家畜排せつ物	87%	約90%
製材工場等残材	99%	約98%

*2 出典：農林水産省HP

50年にわたる技術の蓄積

石炭ガスの時代から約50年。
長年蓄積された水処理・環境に関する知見、
現場のノウハウを活かし確かな技術力でお応えします。



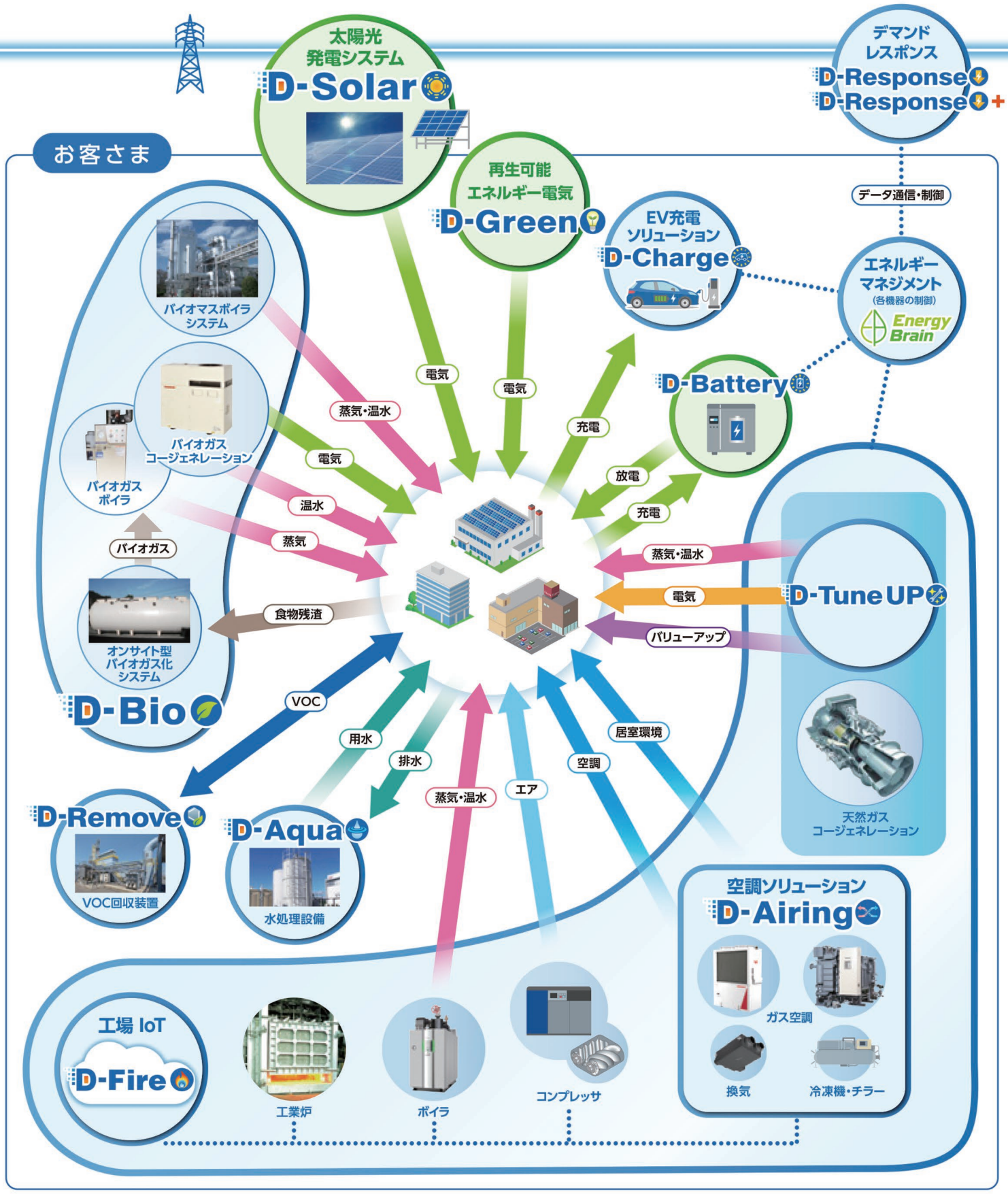
CO_2や廃棄物量削減の取り組みをより一層促進し、社会全体のCO_2削減へ貢献していきます。

Daigasグループのエネルギーソリューション

さまざまな脱炭素ニーズに D-Lineup ソリューションでお応えします

企業の様々な経営課題に対し、Daigasグループが手掛ける広範囲な事業の経験や知見を活かし、

安心安全なエネルギーと幅広いニーズにお応えするソリューションを提供

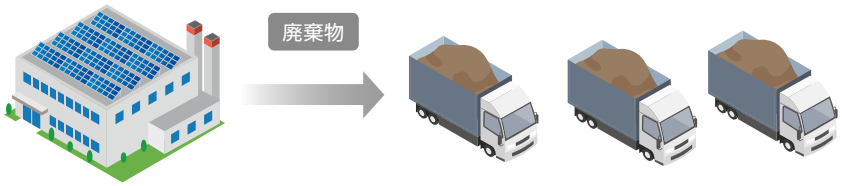


D-Bio とは…

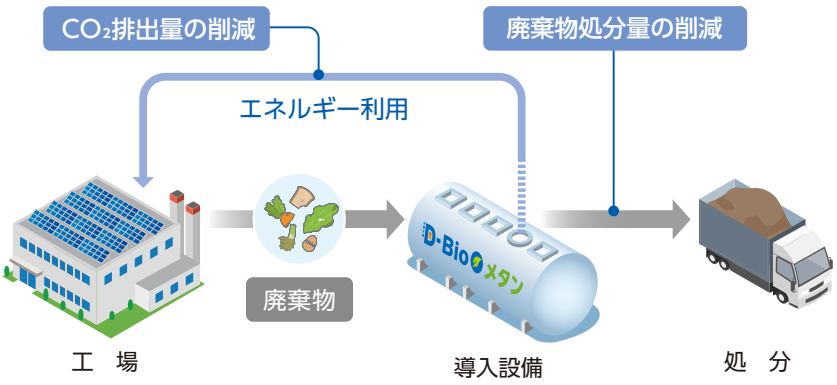
廃棄物の有効利用による処分量の削減と
CO_2排出量を削減するサービス

こんな“お悩み”ございませんか？

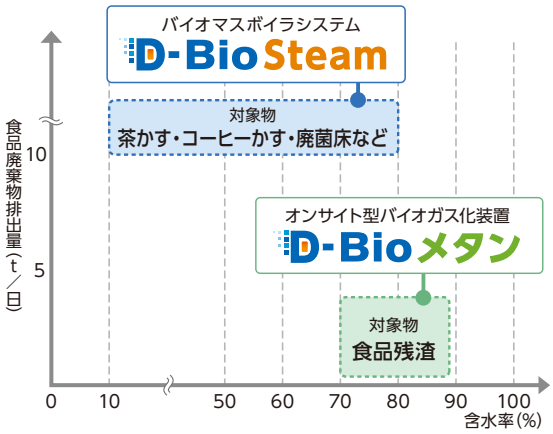
- ☑ 廃棄物処分量が多い
- ☑ 廃棄物輸送にCO_2を排出
- ☑ 廃棄物を有効利用したい



D-Bio サービスイメージ



D-Bioの適応範囲



食品廃棄物などのバイオマスをお客さまの施設内で**エネルギーとして有効利用**します。

課題発掘から設備導入、メンテナンス、運用改善までワンストップでご提供

エネルギー会社のノウハウをフル活用

施設全体のエネルギー利用状況を基に、**技術面・経済性**を考慮して**ご提案**

初期投資ゼロでご利用いただけるエネルギーサービスもご用意[*3]

*3 ご契約に際しては弊社所定の審査が必要となります。

現地調査、課題発掘
ウォークスルー・データ分析

ソリューションのご提案
キラリと光るベンチャー技術も活用

契約・設計
エネルギーサービスで初期投資を削減

施　工
安心・安全な工事管理

メンテナンス
充実したアフターフォロー

運用改善
IoT等を用いて工場全体の運用を見直し

自社ラボで食品残渣の
バイオガス化可否を簡易判定

ご提案商材

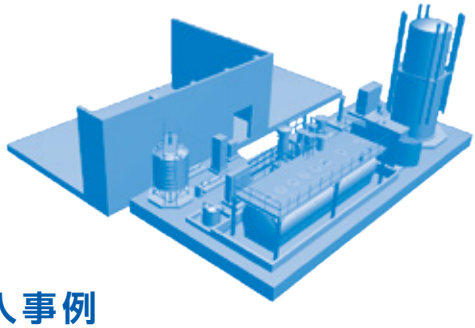
オンサイト型バイオガス化システム D-Bio メタン

オンサイトで食品残渣からバイオガスを発生させ、蒸気ボイラやコージェネレーションのための燃料として活用することでCO_2を削減します。

特 徴

- 高温発酵により、処理物のタンク滞留日数を短縮しタンク容積をコンパクト化
- FRP製の汎用タンクを採用してコストダウンを図ることで、従来技術では適応困難であった食品残渣の排出量3t/日以下への適応が可能に

設置イメージ

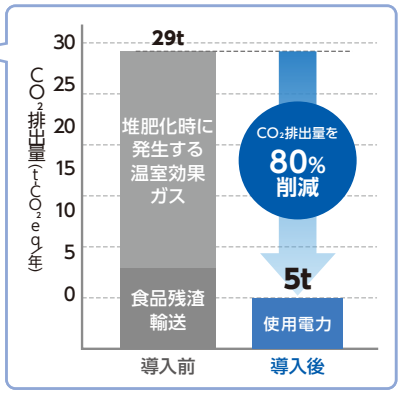


CO_2削減効果*4

堆肥化時のCO_2排出量を**25t/年**削減

＋

発生バイオガスの有効利用によりCO_2排出量をさらに**47t/年**削減



*4 本試算結果はイメージです。処理条件によって削減効果の数値が大幅に変わる可能性がございます。
〈試算条件〉・食品残渣排出量 1t/日を処理 ・導入前は、食品残渣を50km先のサイトにて堆肥利用した場合を想定
・バイオガスは蒸気として利用 ・試算時のCO_2排出係数として、【都市ガス】2.31kg/Nm^3-13A、【電力】0.42kg/kWh、【軽油】2.83kg/L、【CH_4】25kg/kg-CH_4、【NO_2】298kg/kg-NO_2

導入事例

■ イオンモール株式会社 イオンモール豊川さま

食品廃棄物を低減し、サーキュラーモールの実現を推進

廃棄物量低減

省エネ貢献*5

*5 D-Bioメタンで製造したバイオガスを燃料としてバイオガスコージェネレーションを運転し、カーボンニュートラルな電気と温水をつくってモール内で利用することにより、省エネ・CO_2削減

ご提案商材

バイオマスボイラシステム D-Bio Steam

オンサイトで茶かすなどをバイオマス燃料として燃焼させ、蒸気を回収することでCO_2を削減します。

Daigasエナジーの強み

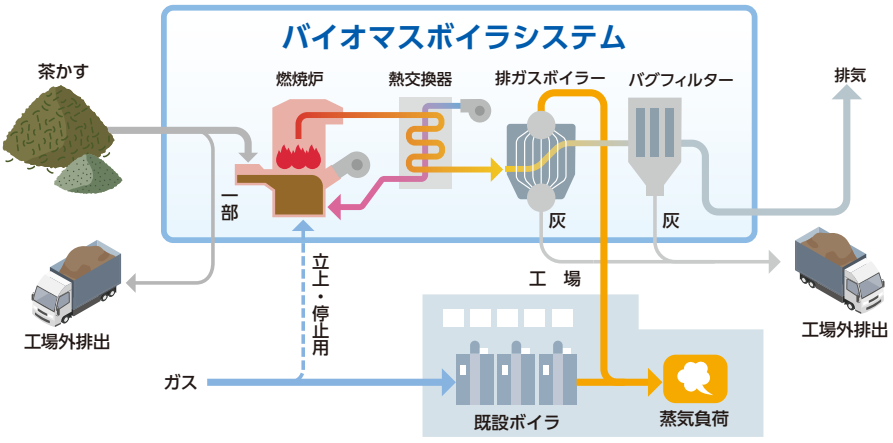
燃焼技術ノウハウ × **ヒートバランスの算定** × **バイオマスの知見**

様々な燃焼機器で培ったノウハウ

自燃できる最適なバランスを選定

自社ラボで成分分析

設置イメージ



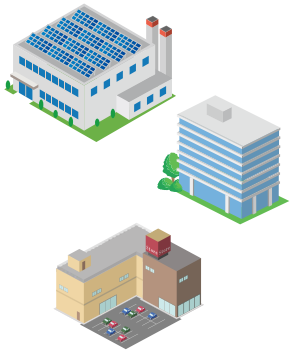
対象物

■ 含水率が高い茶かす、コーヒーかす 等

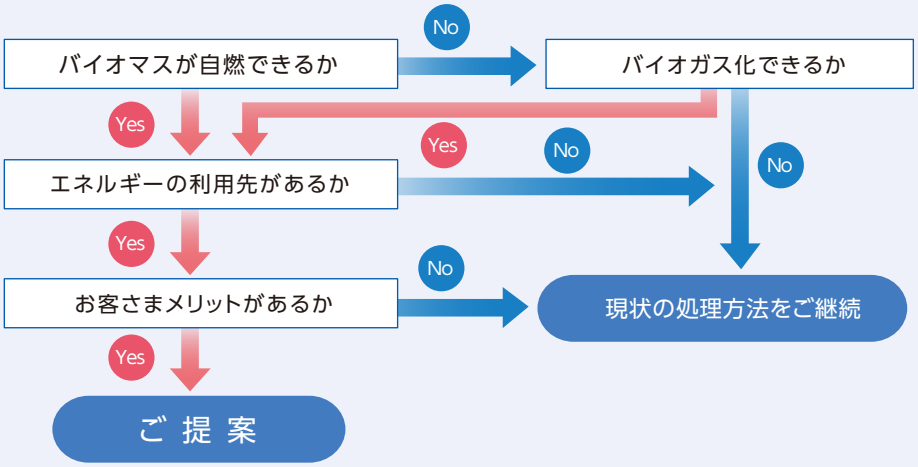
含水率**50～80%**の対象物に対応可能

粘度の高い麦茶かすもご相談ください

D-Bio導入について

お客さま	エネルギーサービス	Daigas エナジー
	設備持込 / 食品残渣を蒸気へ加工 メンテナンス / 食品残渣を電気へ加工 動産総合保険も含まれているので、もしもの際にも安心 使用量などに応じて毎月お支払い	
初期投資ゼロ*4		設備持ち込み

D-Bio ご提案における評価フロー



- バイオマスの性状毎に適切な処理方法を選定します。
- お客さま施設のエネルギー利用状況を基に、バイオマスから得られるエネルギーの利用可否を判断します。
- 技術面と経済性の観点で、設備の導入可否を評価します。

まずは、弊社担当者までお問合せください！

D-Bioに関するご質問・導入のご相談は、下記もしくは右の二次元コードより気軽にお問い合わせください。

お問合わせフォームは、こちら

D-BioのWebページを公開しています。

https://ene.osakagas.co.jp/product/dbio/index.html

右の二次元コードからアクセスいただけます。

Daigas エナジー

〒541-0046 大阪市中央区平野町四丁目1番2号

会社概要 https://www.daigas-energy.co.jp/company/

各種商材・サービス https://ene.osakagas.co.jp/product/index.html

お電話でのご相談は

Daigasエナジー エネルギーコンタクトセンター

0120-563-862

平日(月～金)9:00から17:30